

今後の加古川市版Decidimの活用について

企画部 政策企画課 スマートシティ推進担当



free open-source participatory democracy
for cities and organizations

Decidimの概要

- 「市民中心の課題解決型スマートシティ」の実現
 - 令和2年度に「加古川市スマートシティ構想」を策定
 - 昨年度は「Do It Yourself」、今年度より「Make Our Kakogawa」
 - 市民、民間企業、大学、NPO、行政などの民産学官より様々な人たちが、立場を超えてより良い加古川市の未来のために「ともに考え、ともにつくる」取り組みを推進

- 市民参加型合意形成プラットフォーム（加古川市版Decidim）の導入
 - 全国初の新しい取り組み
 - 市の政策についてオンライン上で議論
 - 広く市民のみなさまや事業者さまからアイデアやご意見
 - 様々な主体の声に耳を傾け、施策を行っていく官民協働による取組
 - 他の自治体をはじめ事業者など多くの方々より評価

Decidim導入の背景

■ 2020年10月15日に一般社団法人 Code for Japan とより一層スマートシティの推進を図るため、「加古川市におけるスマートシティの推進に関する協定」を締結しました。

1. 住民対話・参画を促す「**DIY都市**」の考えに基づいたスマートシティ推進のための活動に関すること

2. 人材の育成に関すること

3. データを活用した地域の課題解決に関すること

10月30日に市民参加型合意形成プラットフォーム「加古川市版Decidim」稼働



Decidimとは

■ Decidimの概要

- バルセロナやヘルシンキなどで使われている、参加型民主主義プロジェクトのためのツール
- オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を提供
- バルセロナのような都市レベル、地域政府レベル、Fundacionのような非営利団体、Decidimコミュニティといったコミュニティ活動でも利用
- 30を超える自治体で利用

■ Decidimの特徴

- パブリックコメントのようなものとは違い、意見を言った人に対するフィードバックを行える。また、計画策定の間のプロセスが設計されており、徐々に議論を収束させていくことができる
- デジタルな参加と、物理的な会議のプロセスを融合させ、デジタル・デバイドの問題を解消
- 議論やデータが可視化されるため、納得解が得やすい

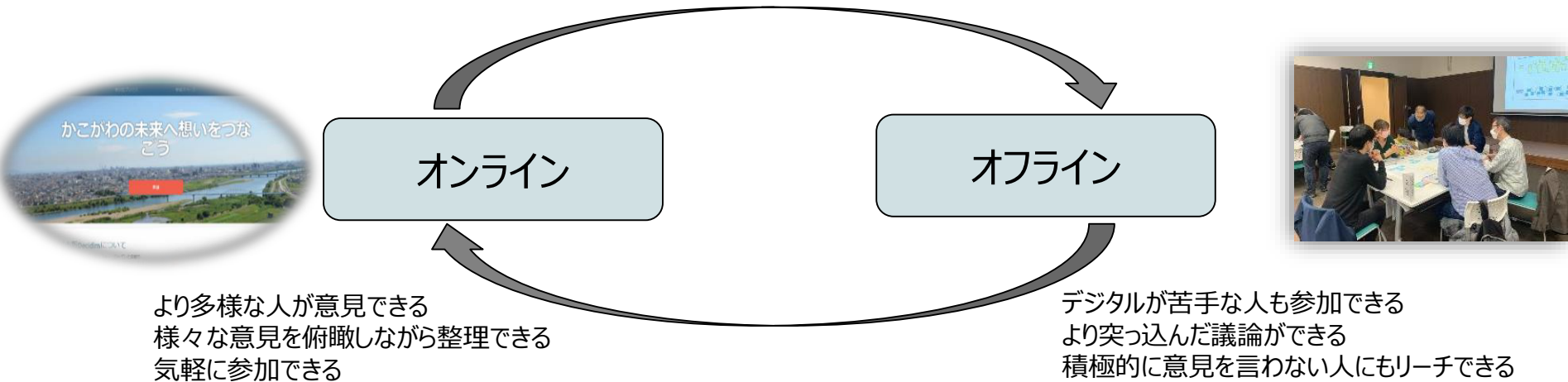
Decidimの実績

■ Decidimの実績

- バルセロナ市の自治体行動計画（PAM）の提案書を提出するプロセスには、12万人（バルセロナの人口の7.5%）が参加
- 提出された**10,860件の提案のうち、1,467件**が公式のPAMに盛り込まれた
- プラットフォームの立ち上げ以来、作成された13,957件のうち、**9,828件の提案が受理**

■ Decidimの議論構成

- オンラインとオフラインを融合させることにより議論を活性化





Make our Kakogawa

かこがわの未来へ想いをつなごう

参加

参加することではじめるまちづくり

加古川市版Decidimは、みなさんの声を実際の政策に反映させるデジタル・プラットフォームです。

ここで誰もがきもちよく過ごせるよう、ルールを決めています。

- アイデアを出し合う場です。誰かのアイデアには「いいね」や「こうしたらもっとよくなるよ」と前向きな意見をしましょう
 - 安心して話してもらえるようにしています。登録には名前が必要ですが公開されません。ニックネームで投稿できます。
 - 過去のやりとりを誰もが確認できるように、一度投稿した内容は、修正・削除できないようになっています。
- 投稿の前に、「問題ないかな?」と、念のための確認をお薦めします。

新規登録

ログイン



加古川市版Decidimの特徴

■ 参加者を募るために匿名とした

- パスポートや免許証などの身分証明書による担保は行っていない
- 実名はユーザー登録時に取得
- その他、メールアドレス、住所、生年、性別、職業について統計処理のため取得
- 日本人に合うのかどうか

■ 日本語化に向けて

- 日本語化の苦勞
 - ・ CFJのSlackにおいて#proj-decidimが立ち上がる
 - ・ Decidim独自の表現が日本語に当てはまらないケース
 - ・ 参加型プロセス、参加スペース、スコープ、エリア
- すべての機能を使っているわけではない
- 今後の改善のために提案機能も実装させたい

加古川市 x CODE BY JAPAN

加古川市 スマートシティ構想

ご意見募集中!

10/30
稼働

かがわの未来へ想いをつなごう ~「DIY都市」の実現に向けて~

加古川市では、市民の皆さまとともにつくるスマートシティ「DIY都市」を実現するために、今年度、「加古川市スマートシティ構想」の策定を予定しています。そこで、皆さまより様々なご意見をいただき、議論し、政策に結び付けていくための場として「市民参加型合意形成プラットフォーム」をオンライン上に立ち上げました。

お気軽にご参加いただき、皆さまのご意見をお聞かせください。

問い合わせ先：加古川市企画部情報政策課
079-427-9127 <https://kakogawa.dijcities.jp/>

Decidim活用事例

事例① 加古川市スマートシティ構想策定（R2.10～R3.2）

- 3段階のフェーズを活用（アイデア収集、意見収集、パブリックコメント）

事例② ICTのまちづくり（情報通信技術利活用事業）（R3.3～）

- いただいたコメントをもとに議題のあげ方等を修正

事例③ みんなでつくる健康（R3.6）

- 一般情報のページに画像を掲載

事例④ 加古川河川敷のにぎわいづくり（R3.6～）

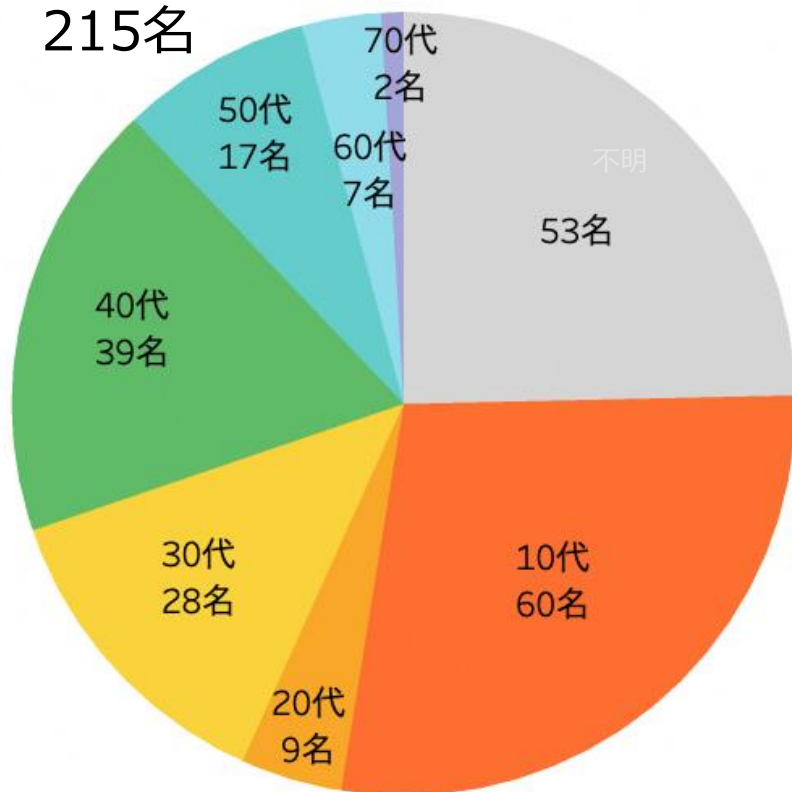
- 事務局からのお知らせを活用し、各種イベントを紹介

事例⑤ 新たに完成する複合施設の愛称募集（R3.7）

- 投票機能を導入

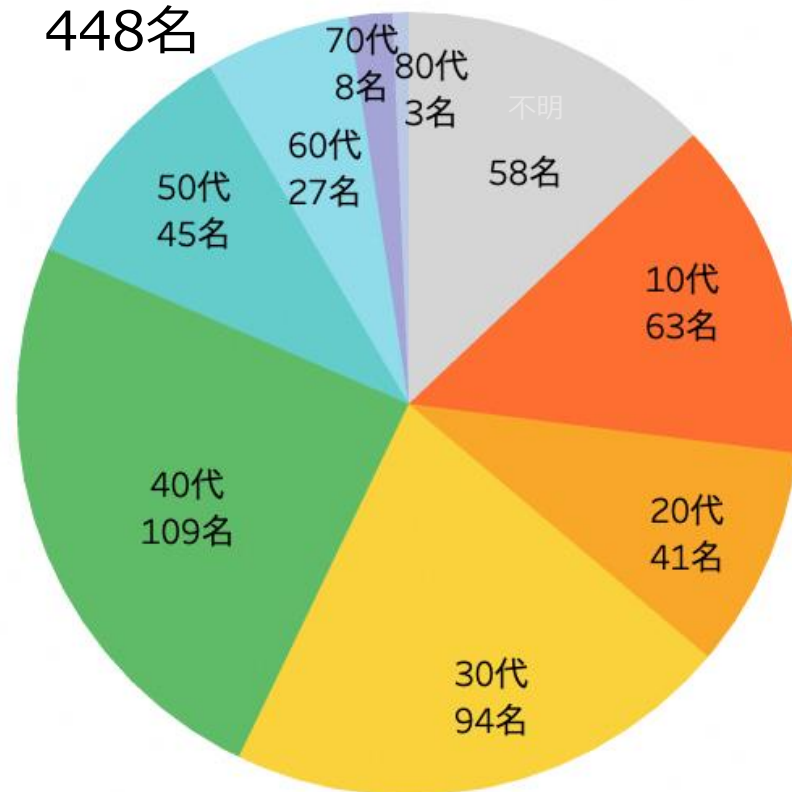
2020.10 ~ 2021.2.5

215名

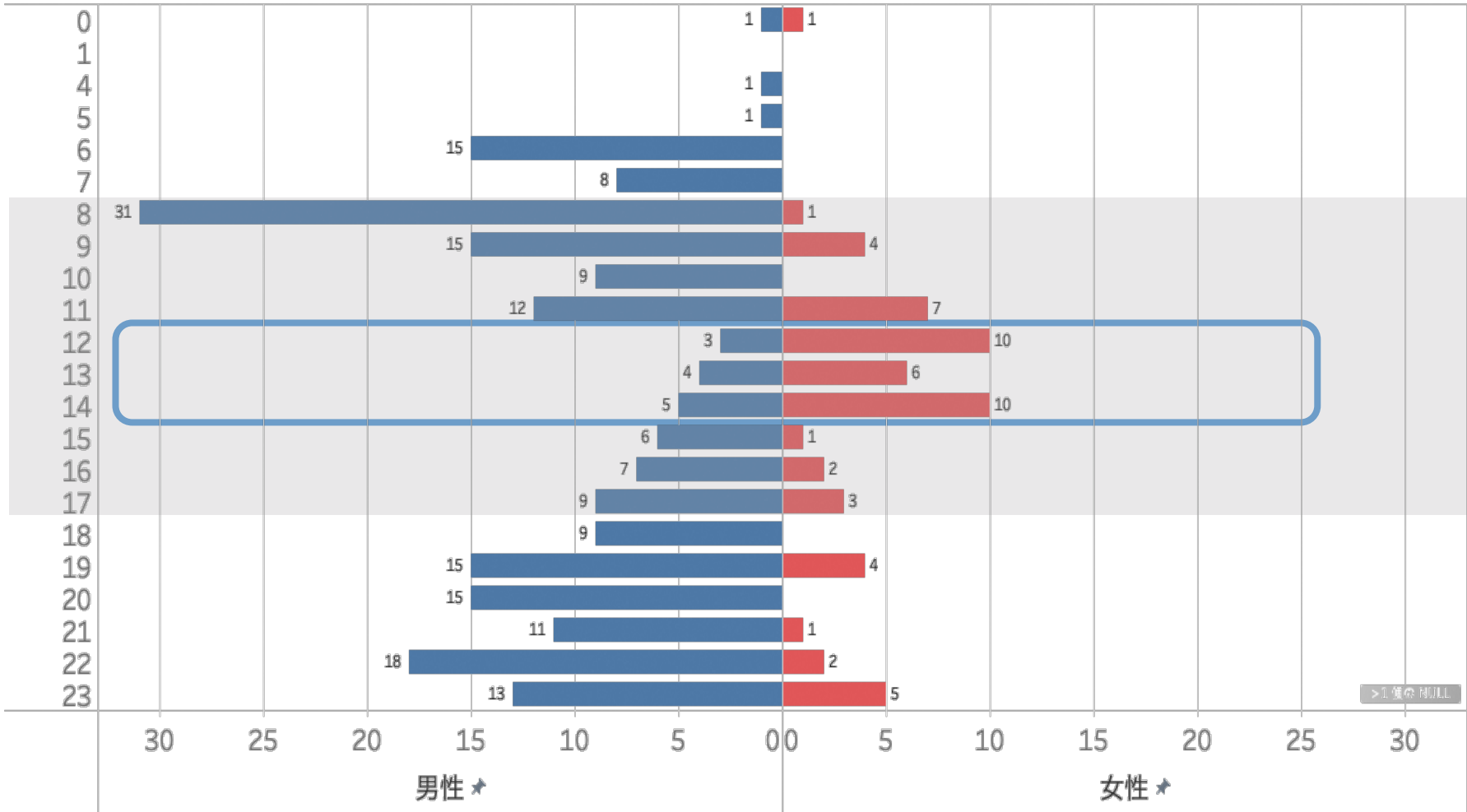


2020.10 ~ 2021.7.25

448名

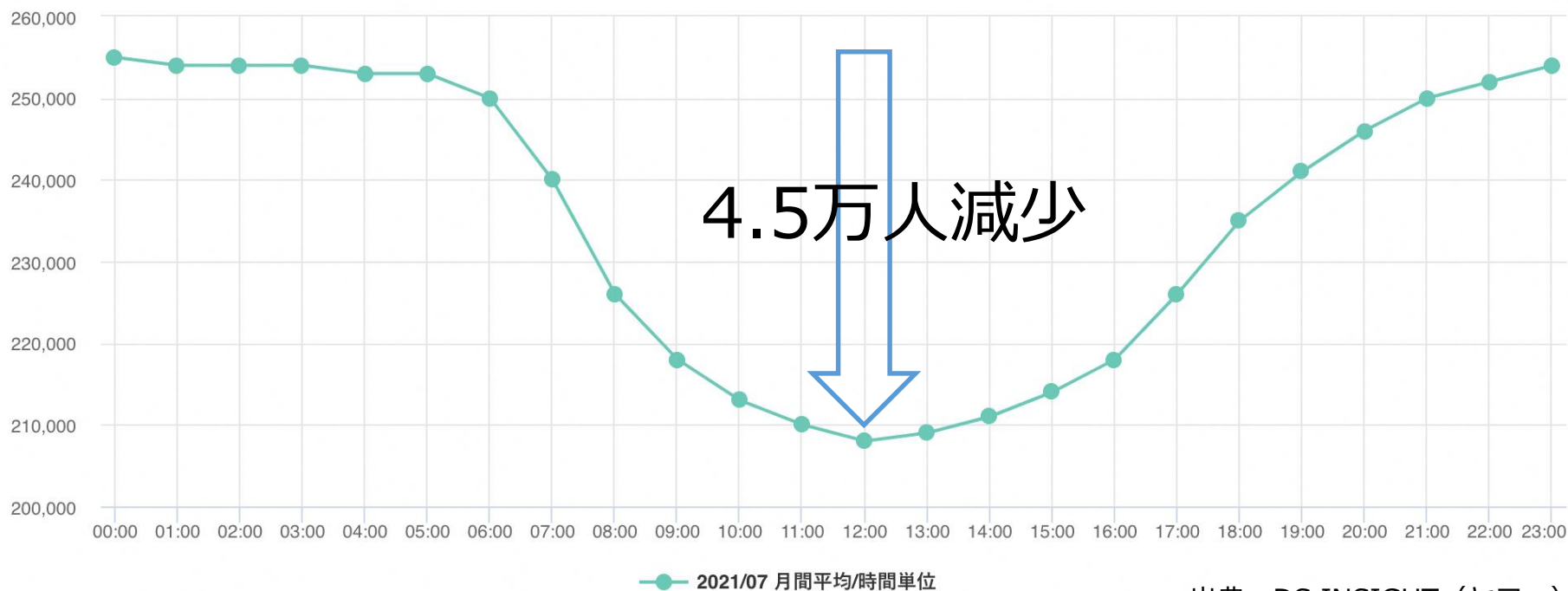


時刻の時間

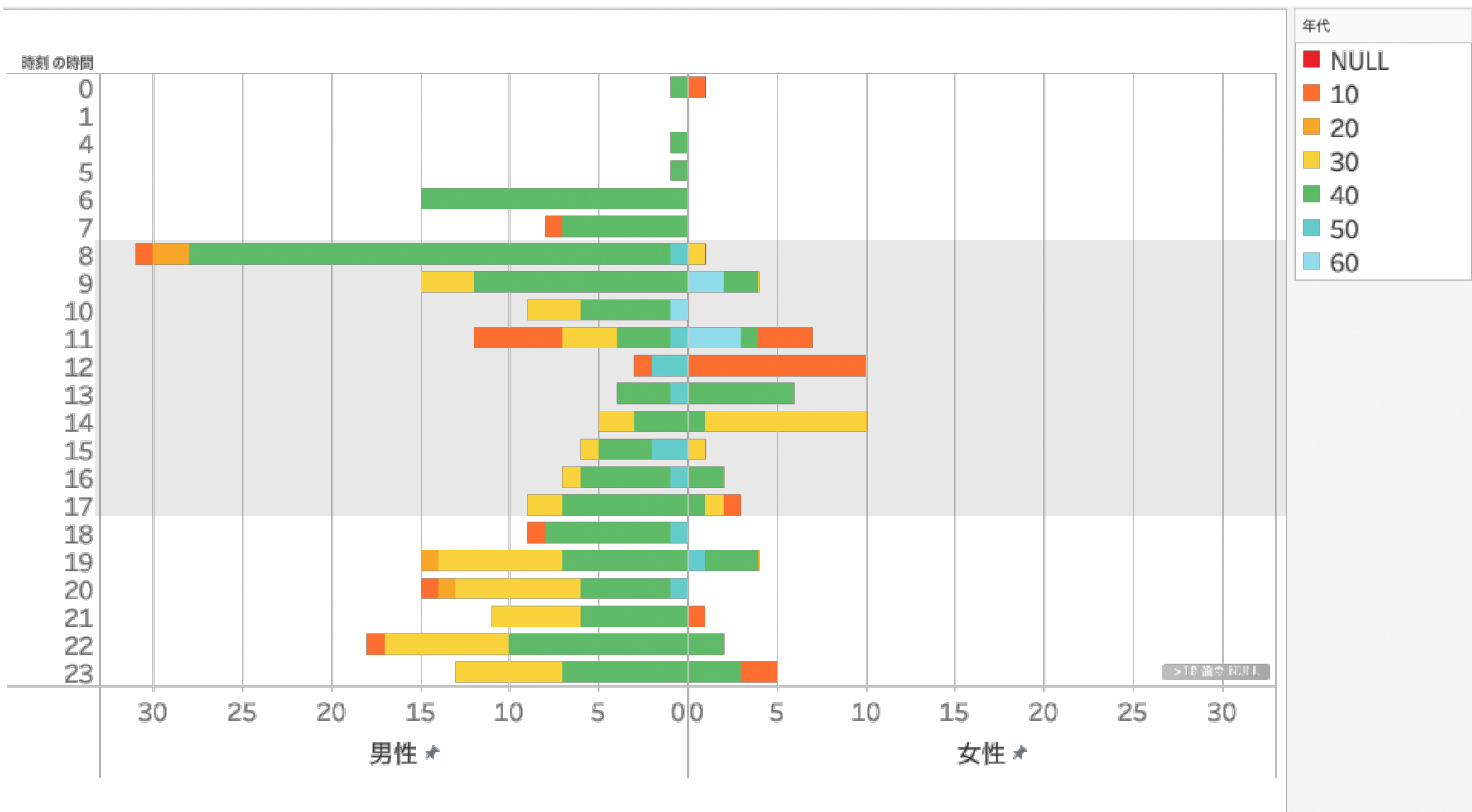


>1 個の項目

加古川市内にいる加古川市民の数 夜間人口=人口（基準）としたときの昼間人口推計



出典：DS.INSIGHT（ヤフー）



今後の展望

- 他の自治体にはないスマートシティの推進
 - 様々な機関からの共同研究や実証実験の依頼
 - 単なるデジタルツールの導入だけではなく、市民の声を聴きながら推進
- 市民ニーズに見合ったサービスの展開
 - 将来的には、加古川市版Decidimを活用した市民ニーズを公開
 - 市民ニーズに見合ったサービスを提案できる事業者の募集・誘致
- Decidimの他機能の活用
 - 参加型予算
 - 市民提案制度